

有機溶剤系接着剤取扱いの手引

「有機溶剤系接着剤」は広い用途に利用されていますが、使用に際して思わぬトラブルを起こすことも考えられます。この手引きは、安全作業のポイントと、万が一起きた際の応急処置法をまとめたものです。接着剤の使用に当たってはぜひご一読いただき、適切な使い方をしていただくようお願いいたします。なお、この手引きは一般的な事項について述べたものであることをご了承ください。

*安全作業のポイント

- イ) 子供の手が届かないところに置き、いたずらされないよう注意してください。
- ロ) 接着用途以外には、使用しないでください。
- ハ) 有機溶剤が揮発して固化します。健康管理上、使用中は通風・換気を良くしてください。
- ニ) 有機溶剤を含んでいますので、使用中は火気厳禁をお願いします。
- ホ) 接着作業は、不浸透性の手袋・保護メガネ・保護衣などを着用することをお勧めします。
- ヘ) 取扱い中に気分が悪くなった場合には、ただちに使用を止めてください。
- ト) 取扱い後は、手洗い・うがい・洗面を十分に行ってください。

*人体に関する事項

(1) 手についてしまった

すぐに接着剤をふき取り、石けんやクレンザーで洗い流してください。硬化したものは特に健康障害はないので、無理に取らなくてもよい。何度でもお湯につけてゆっくり落としてください。

(2) 目に入ってしまった

こすらずにすぐに流水で最低15分間以上洗眼（コンタクトレンズを着用していて容易に取り外せる場合は取り外す）した後、医師の診断を受けてください。

(3) 口に入ってしまった

飲み込まないようにして水で口をゆすぎ、医師の診断を受けてください。

(4) 飲み込んでしまった

すぐに水で口をゆすぎ、大量の水や牛乳を飲み、医師の診断を受けて下さい。窒息の恐れがあるため、嘔吐を誘発しないようにしてください。

(5) 髪の毛についてしまった

すぐに接着剤をふき取り、シャンプーで洗ってください。ムリに取らず、自然に落ちるのを待つ方がよい。

(6) かぶれが出た

すぐに使うのをやめ、空気の新鮮な場所に移動してください。医師の診断を受けてください。

(7) 目やのどに刺激を感じた

すぐに使うのを止め、換気のよい場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。接着剤を使う時には、十分に換気するようにしてください。

※コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外してください。

* 器物に関する事項

(1) 衣服に接着剤がついてしまった（接着剤が乾燥する前）

衣服を脱ぎ、布などで接着剤をすぐに拭き取り、石けん水でもみ洗いしてください。説明書に指示がある場合を除き、シンナーなどの溶剤は使用しないでください。

(2) 衣服に接着剤がついてしまった（接着剤が固まった後）

一般的に固まった接着剤を取ることは困難です。温水にしばらく浸してから、生地が傷まないように注意しながら石けん水でよくもみ洗います。シンナーなどの溶剤は使用しないでください。

(3) 家具・床などにこぼしてしまった

接着剤に含まれる有機溶剤で美粧性が損なわれます。すぐに布などで接着剤を拭き取ってから、石けん水でぬらした布などでよく拭いてください。シンナーなどの溶剤は使用しないでください。

(4) 畳・じゅうたんなどにこぼしてしまった

一般的に取ることは困難です。接着剤に含まれる有機溶剤で美粧性が損なわれます。すぐに布などで接着剤を拭き取ってから、石けんでぬらした布などでよく拭いてください。シンナーなどの溶剤を使うと下地を傷めるので注意が必要です。

(5) 食器を接着したい

直接食品に触れる用途には使わないでください。食器は原則として使用しないことを推奨します。

(6) メガネについてしまった（接着剤が固まる前）

布などで接着剤を拭き取り、石けんで洗ってください。シンナーなどの溶剤はプラスチックレンズを侵すことがあるので使わないでください。

(7) メガネについて接着剤が固まってしまった

一般的には完全に取ることは困難です。石けん水で洗いながらふき取ります。シンナーなどの溶剤はプラスチックレンズを侵すことがあるので使わないでください。

(8) 接着剤を塗布した面が白くなった場合

結露による白化なので部屋の温度を上げ、湿度を下げると良い。また接着する材料の温度も上げると良い。接着する材料の種類を確認し、その材料にあった接着剤に変更することが必要です。

(9) 接着したものの周辺が白くなってしまった場合

接着剤に含まれる有機溶剤が接着する材料の表面を侵したためです。接着する材料の種類を確認し、その材料にあった接着剤に変更することが必要です。

(10) 接着した付近が錆びてしまった場合

接着剤に含まれる有機溶剤の種類に原因がある可能性が強いです。メーカーに相談してください。

(11) 貼ったあと、臭いが強い場合

臭いの原因は、接着した面に残っている有機溶剤によることが多いです。暖かい換気のよい場所に置き、乾燥を促進し、溶剤を充分蒸発させてください。ただし、ガストーブなど火気の近くで使うことは絶対にしないこと。

* 接着剤の使用法に関する事項

(1) 誤って接着した。はがす方法は？

接着剤の乾燥後は、はがすのは困難です。状況に応じてメーカーに相談してください。

(2) 再使用時にチューブ容器のフタがくっついて開かない

使った後は、容器の口元についた接着剤を布などでよくふき取ってください。一般的には、くっついてしまったものを開けるのは困難です。フタの部分をお湯などに浸して接着剤が軟化するのを待ってゆっくり開けます。

(3) 底に沈殿しているものがあるが、この部分も使えるか？

上の部分はそのまま接着剤として使えますが、沈殿しているものだけでは接着できません。かき混ぜられるのであれば、混ぜてから使用してください。

(4) 手袋はどんな種類が良いか？

ポリエチレン製の不浸透性タイプのがよい。軍手など浸み込みのある素材は避けること。

(5) 接着剤の保管方法は？

一度出した接着剤は容器にもどさない。フタはしっかり閉め、5～35℃の日の当たらない場所に保管してください。有機溶剤を含んでいるので、保管時も火気に注意すること。

(6) 廃棄の方法は？

固まらせてから廃プラスチックごみとして、各自治体の処分方法に従って処理してください。

(7) 燃やしたら有害ガスが出ないか？

接着剤の種類、燃やす温度などにより異なります。条件を示して接着剤メーカーに相談してください。

日 本 接 着 剤 工 業 会

東京都千代田区鍛冶町 1-10-4

TEL. 03-3251-3360
